

校長室だより

～なかまとともにのびよう～

令和6年3月1日号 校長 高橋 義浩



天美小学校HP

1 年を振り返って

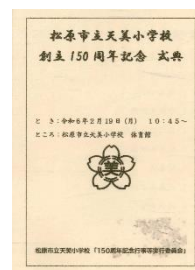
今年度も早いもので、残すところあと1ヶ月となりました。

今年度は、天美小学校「創立150周年」の記念の年でした。先日、「150周年記念式典」を開催いたしました。式典に向け天美小学校の歴史を調べる中で、この150年の重みを痛感いたしました。ここまで歴史を積み重ねてきていただいた諸先輩方、そして、天美の地域の皆様に改めて感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

さて、保護者の皆様。この一年、本校の教育活動にご理解ご協力いただき、本当にありがとうございました。職員一同、お礼を申し上げますとともに、来年度も引き続きご支援ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。



天美小学校 創立150周年記念式典



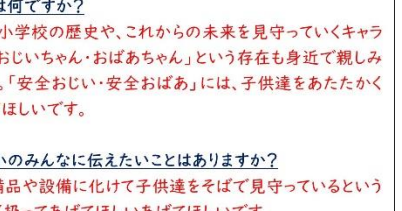
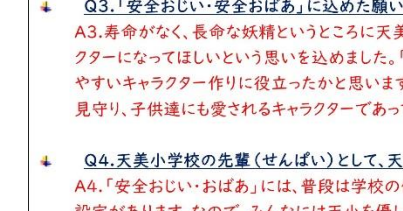
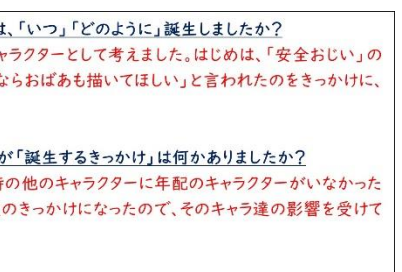
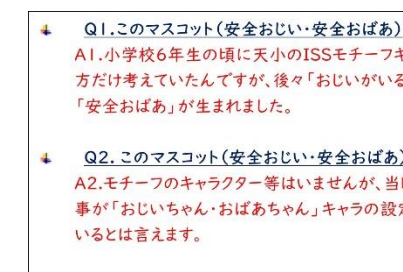
「本校ハ明治六年六月九日ニシテ河州八十九番小學ト稱シ丹北郡池内村敬恩寺堂宇ヲ借用シ假校舎ニ充ツ」（「天美小学校は明治6年6月9日に 河内の89番目の小学校として 池内村の敬恩寺（きょうおんじ）のお堂をかりて仮の校舎とします」）

【「天美小学校 沿革史」より】

2月19日（月）3時限目に「松原市立天美小学校 創立150周年記念式典」を開催しました。

「150周年記念行事等実行委員会」主催で開かれた式典は、学校長あいさつ、実行委員長あいさつのもと、子どもたちへの記念品授与、記念の石像の除幕式、天美小学校の移り変わりをまとめたスライドの上映へと続き、最後に全員で校歌を斉唱し、実行員さんへのお礼を言って終わりとなりました。

以下、当日の様子です。



- Q1. このマスコット(安全おじい・安全おばあ)は、「いつ」「どのように」誕生しましたか？
A1. 小学校6年生の頃に天小のISSモチーフキャラクターとして考えました。はじめは、「安全おじい」の方だけ考えていたんですが、後々「おじいがいるならおばあも描いてほしい」と言われたのをきっかけに、「安全おばあ」が生まれました。
- Q2. このマスコット(安全おじい・安全おばあ)が「誕生するきっかけ」は何かありましたか？
A2. モチーフのキャラクター等はいませんが、当時の他のキャラクターに年配のキャラクターがいなかった事が「おじいちゃん・おばあちゃん」キャラの設定のきっかけになったので、そのキャラ達の影響を受けていると言えます。
- Q3. 「安全おじい・安全おばあ」に込めた願いは何ですか？
A3. 寿命がなく、長命な妖精というところに天美小学校の歴史や、これからの未来を見守っていくキャラクターになってほしいという思いを込めました。「おじいちゃん・おばあちゃん」という存在も身近で親しみやすいキャラクター作りに役立ったかと思います。「安全おじい・安全おばあ」には、子供達をあたかく見守り、子供達にも愛されるキャラクターであってほしいです。
- Q4. 天美小学校の先輩(せんぱい)として、天小のみんなに伝えたいことはありますか？
A4. 「安全おじい・おばあ」には、普段は学校の備品や設備に化けて子供達をそばで見守っているという設定があります。なので、みんなには天小を優しく扱ってあげてほしいと思っています。

「見守り隊」感謝状贈呈式

いつも子どもたちの安全を見守っていただき、本当にありがとうございます。

3月8日(金)の児童朝会で、見守り隊(朝、子どもたちを見守っていただいている方々)の皆様**に感謝状の贈呈式**を行いたいと思います。もし、**ご都合のつく方は、8日(金)の8時30分までに校長室**までお越しください。よろしくお願いいたします。

